



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,207.84	123.69	0.36	-0.51	11.77	30,606.48
NASDAQ	13,470.99	-64.75	-0.48	0.31	4.52	12,888.28
日経225	28,317.83	219.58	0.78	0.83	3.18	27,444.17
上海総合	3,486.56	-20.39	-0.58	-0.11	0.39	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,134.15	-52.26	-1.01	0.46	-1.48	5,211.29
ハンセン	28,458.44	8.15	0.03	1.54	4.51	27,231.13
中国企業	10,702.57	59.77	0.56	2.86	-0.33	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.5%高と4週ぶりに反発、上海総合指数は0.1%安

香港市場は19日が休場だったため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で1.5%高と4週ぶりに反発した。週前半は米長期金利の低下や新型コロナワクチン普及による景気回復期待を背景に堅調な値動き。一方、週後半はFOMC議事録でテーパリング議論が示唆されて警戒感が広がったほか、四半期決算を発表したテンセントの急落が相場の重しとなった。本土市場では上海総合指数が週間で0.1%安と小幅に反落。週初は景気の先行きに対する楽観的見方が広がったが、週後半は持ち高調整の売りに押される展開となった。

今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、米長期金利の動向に引き続き注視

香港市場は一進一退の展開が予想される。欧米を中心に新型コロナワクチンの接種の普及で世界景気の早期正常化が期待される一方、米国ではテーパリング開始への警戒感もくすぶっており、引き続き米長期金利の動向に神経質に反応しそうだ。ビットコインなど仮想通貨の値動きも激しくなっており、株式市場でもリスク回避の動きが広がる可能性がある。本土市場は上値の重い展開か。上海総合指数は先週末に再び節目の3500ポイントを割り込んでおり、しばらくはこの水準が上値の目処として意識されそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 美团 (03690)	275.20	12.79
2 申洲国際集団 (02313)	194.50	11.21
3 吉利汽車 (00175)	19.20	9.22
4 瑞声科技 (02018)	46.05	8.23
5 舜宇光学科技 (02382)	181.90	7.95
6 安踏体育用品 (02020)	148.60	7.45
7 小米集団 (01810)	27.45	6.19
8 薬明生物技術 (02269)	110.70	4.93
9 碧桂園 (02007)	9.79	4.71
10 海底撈国際 (06862)	45.80	4.33

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 バドワイザーAPAC (01876)	25.90	-5.65
2 中銀香港 (02388)	27.75	-5.61
3 長江インフラ (01038)	46.85	-5.26
4 電能実業 (00006)	47.20	-5.22
5 ファイナ・コム (00762)	4.25	-4.28
6 恒安国際集団 (01044)	49.35	-2.28
7 長江実業地産 (01113)	49.00	-1.90
8 CNOOC (00883)	8.44	-1.86
9 創科実業 (00669)	135.90	-1.81
10 恒隆地産 (00101)	19.30	-1.63

▼今週の主なイベント

- 5月27日(木)
- 【香港】貿易統計(4月)
- 【中国】工業企業利益(4月)
- 【米国】GDP改定値(1-3月)

▼今週の期待材料

- ◆欧米を中心に新型コロナワクチン接種の普及進む、世界景気の早期正常化への期待が高まる公算
- ◆5月に中国当局が17本のハンセンテック指数関連ETFの販売を承認、「南向き」資金の流入拡大に期待
- ◆中国の4月の経済指標はやや減速傾向も先行きに対しては楽観論優勢、4-6月期GDP成長率予想は8%前後

▼今週の懸念材料

- ◆FOMC議事要旨でテーパリング議論の開始を示唆、米長期金利が引き続き不安定な値動きになる可能性も
- ◆ビットコインをはじめとする仮想通貨価格が急落、リスク回避で株式市場でも慎重姿勢が強まる公算
- ◆中国でネット企業に対する締め付け続く、中国当局が違法な個人情報の収集で105のアプリに改善を要求

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 阿里健康 (00241) : 25日に21年3月本決算を発表、市場予想は黒字転換
- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 4月の5G加入純増数が前月比で5%増加
- ☆ 信義光能 (00968) : ハンセン指数にサプライズ採用、6月7日付で発効
- ☆ レノボグループ (00992) : 27日に21年3月本決算を発表、市場予想は73%増益
- ☆ BYD (01211) : ハンセン指数に6月7日付で採用、指数ウエートは0.98%
- ☆ 小米集団 (01810) : 26日に1-3月期決算を発表、市場予想は88%増益
- ★ テンセント (00700) : 1-3月期決算は65%増益、非GAAPベースで予想下回る
- ★ AIAグループ (01299) : ハンセン指数のウエートが10.24%から8.0%に低下
- ★ 美团 (03690) : 28日に1-3月期決算を発表、市場予想は赤字拡大
- ★ JDドットコム (09618) : ハンセン指数の採用候補挙がるも落選、失望売り出る公算

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。